

1 宮津市の人口・世帯数(平成22年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人口 20,823人(男:9,784人、女:11,039人)
(前年同月比 - 225人)

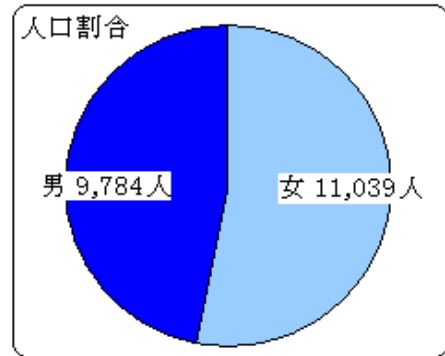
世帯 8,830世帯
(前年同月比 + 11世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

12月末の宮津の人口は、前年同月比 - 225人(-1.1%)と、依然減少傾向が続いている。

しかしながら、世帯数は対前年同月比 + 11世帯となり、核家族化の傾向がみられる。

住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成22年9月	199	281	101	0.72	0.59	0.57
(前年同月比)	-23	+78	+10	+0.23	+0.10	+0.10
平成22年10月	212	283	90	0.75	0.63	0.60
(前年同月比)	-4	+46	+11	+0.22	+0.12	+0.13
平成22年11月	198	211	86	0.79	0.66	0.62
(前年同月比)	-5	+70	-7	+0.26	+0.13	+0.15

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、11ヶ月連続の増加となり、前年同月比で +0.10~0.13%となっている。また、全国では8ヶ月連続、京都府では7ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

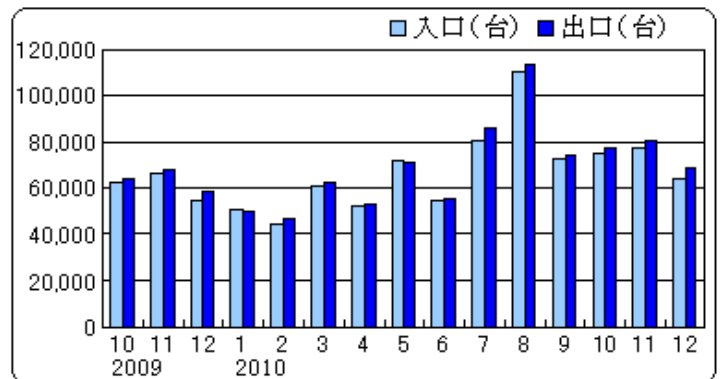
3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC交通量(綾部宮津道路)

	入口(台)	出口(台)
平成22年10月	74,954	77,082
(前年同月比)	+12,627	+13,274
平成22年11月	77,845	80,660
(前年同月比)	+11,303	+12,765
平成22年12月	63,725	68,574
(前年同月比)	+9,185	+9,569

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立IC利用者は高速道路割引及び京都縦貫自動車道の一部無料化(6/21~)により大幅な伸びを示している。



宮津市内主要駐車場 利用状況 ()は内バス台数

	市営天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成22年10月	1,350台(2台)	5,400台(570台)	11,042台(10台)	2,484台(938台)
(前年同月比)	-82台(-9台)	+407台(-173台)	+770台(+3台)	+731台(-224台)
平成22年11月	990台(4台)	5,491台(809台)	10,091台(33台)	3,694台(1,621台)
(前年同月比)	+103台(-3台)	+261台(-8台)	+935台(+24台)	+1,636台(+189台)
平成22年12月	357台(0台)	3,254台(508台)	11,583台(12台)	2,142台(976台)
(前年同月比)	+210台(-1台)	-438台(-284台)	+548台(-3台)	+914台(+145台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

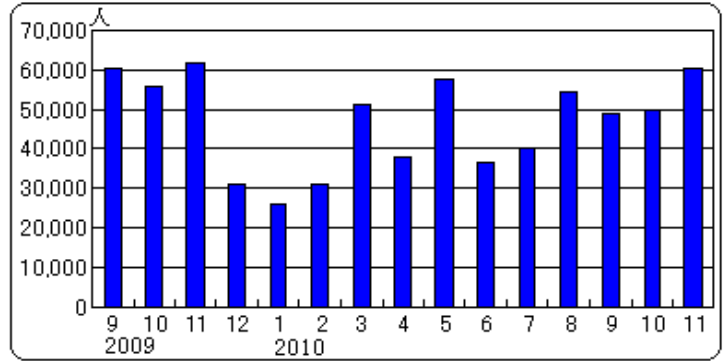
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については減少した駐車場もあるが、全体の前年同月比では5,995台の増加であった。バスは344台の減少(3ヶ月間)であった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成22年9月	48,875人
(前年同月比)	-11,457人
平成22年10月	49,979人
(前年同月比)	-5,898人
平成22年11月	60,350人
(前年同月比)	-1,186人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

9月～11月の利用客数は前年同月比 2%～19%の減少であった。理由として、昨年に比べ連休が少なかった事があげられる。

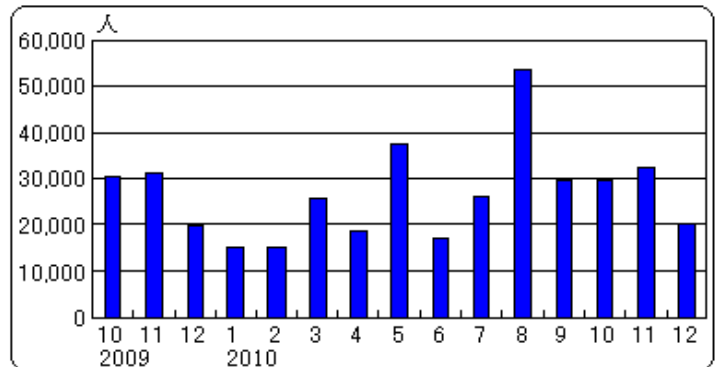


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成22年10月	29,617人
(前年同月比)	-996人
平成22年11月	32,631人
(前年同月比)	+1,224人
平成22年12月	20,024人
(前年同月比)	+96人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

10月～12月合計の利用客数は前年同期比で若干増加の+0.4%であった。



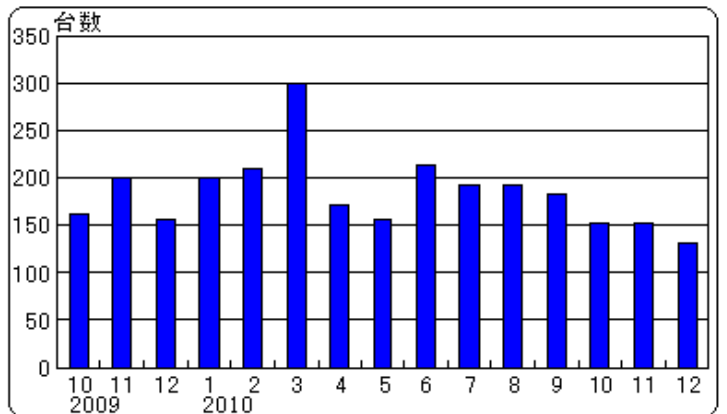
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成22年10月	152台 (前年同月比 -9台)
平成22年11月	151台 (前年同月比 -49台)
平成22年12月	133台 (前年同月比 -23台)

<資料:宮津警察署>

車庫証明申請台数は前年同月比 -5.6%～-24.5%減少している。理由として、エコカー補助金が9月末で終了した事が考えられる。



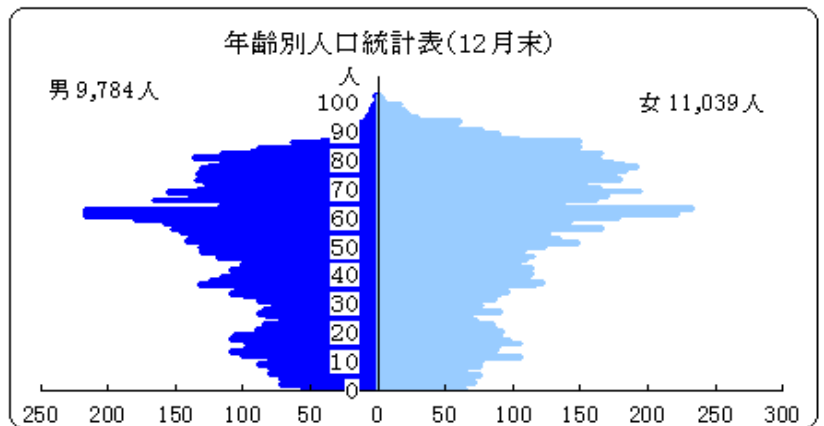
5 トピックス

宮津市の年齢別人口統計表(平成22年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人数の多い年齢			
	年齢	人数	割合
1	63歳	450人	2.16%
2	61歳	438人	2.10%
3	62歳	426人	2.05%
4	59歳	353人	1.70%
5	69歳	350人	1.68%

年代別人数及び割合		
90歳以上	491人	2.36%
80歳代	2,106人	10.11%
70歳代	2,975人	14.29%
60歳代	3,424人	16.44%
50歳代	2,833人	13.61%
40歳代	2,138人	10.27%
30歳代	1,991人	9.56%
20歳代	1,602人	7.69%
10歳代	1,868人	8.97%
10歳まで	1,395人	6.70%



・高齢者(65歳以上)	7,093人	34.06%
・高校生(16～18歳)	594人	2.85%
・中学生(13～15歳)	550人	2.64%
・小学生(7～12歳)	980人	4.71%
・未就学児童(0～6歳)	943人	4.53%

宮津景況調査アンケート(調査期間 平成22年10月～12月) 回答企業数 17社

調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上にアンケートをお願いした。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

- ・建設業 景気の低迷と公共工事の減少で業界全体が不景気で、「売上額」・「今後の売上見込」について増加が無く、厳しい状況が続いている。
- ・小売業 「仕入単価」については全ての企業が「不変」と回答しているが、「今後の売上見込」については67%の企業が「やや減少」と回答している。
- ・卸売業 「売上額」・「採算」・「今後の売上見込」について50%の企業が「かなり減少(悪化)」と回答しており、「仕入単価」については全ての企業が「やや上昇」と回答している。
- ・製造業 「今後の売上見込」について全ての企業が「やや減少」と回答しており、「仕入単価」についても全ての企業が「やや上昇」と回答し、厳しい状況が伺える。
- ・サービス業 「売上額」について50%の企業が「やや増加」と回答しており、「採算」についても50%の企業が「やや好転」と回答している。しかし、「今後の売上見込」については38%の企業が「やや減少」と回答している。

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

小売業

- ・人材育成。
- ・後継者の育成。
- ・12月以降、仕入単価の大幅な上昇が予想され、採算の悪化懸念。
- ・不況による売上採算の減少。関連して借入金返済等に心配。

卸売業

- ・取引先の廃業、支払いの悪化や、リストラ等による売上の減少。
- ・設備の老朽化(設備投資できるだけの予算がない)。

製造業

- ・製造業の為、機械での製品造り。この機械の老朽化が進んだ時(故障等)対応が出来る先が無い。

サービス業

- ・顧客増加に苦慮している。
- ・人事戦略。
- ・売上単価ダウン。
- ・キャッシュフロー(月によって回転資金がばらばら)。
- ・単価率の引き下げ。
- ・設備投資。
- ・地元での取引のウエイトが年々低下している。
- ・建物・施設の老朽化。
- ・稼働率が悪い。
- ・運転資金の正常化。

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

現在取組んでいる改善策

建設業

- ・更なる経費削減の検討と民間分野での開拓。
- ・経費節減。

小売業

- ・ネット事業による販路拡大。
- ・得意分野の強化による販売拡大。
- ・経費節減。(2件)
- ・販売分野以外の幅広い取組み。

卸売業

- ・得意分野の強化。
- ・経費節減。

製造業

- ・経費節減。

サービス業

- ・人材育成。
- ・ロスコストの削減。
- ・独自性の開発(商品、サービス)。
- ・経営理念の浸透。
- ・集客対策。
- ・経費節減。
- ・早期現金回収(回収率を上げる)。
- ・顧客管理の徹底、売上拡大。
- ・もっともっとシビアな経費削減と販売アイテムの増加や新商品の研究。
- ・効率を上げる。
- ・原価・経費の低減。
- ・新規事業の開始。
- ・営業範囲の拡大。
- ・給与システムの改良。
- ・客層(ターゲット)拡大。

今後実行しようとしている改善策

建設業

- ・価格競争をできるだけ避ける。人を減らす事になっても無理に工事をとらない。
- ・販路拡大。

小売業

- ・作業効率の改善。
- ・社員教育の徹底。

卸売業

- ・更に経費の節減。
- ・一般消費者に販売するシステム。

サービス業

- ・コミュニケーション能力の向上(全社員)。
- ・設備改修、投資。
- ・お客様のニーズにあったサービスの展開。
- ・適材適所に社員を配置し、個々の役割の見直しと徹底につとめて業務の効率化をはかる。
- ・徹底したコスト削減と販路の関西圏への拡大しかない。
- ・人材の若年化。
- ・適正な人事確保。

問4 府・市・会議所への要望。

建設業

- ・せめて発注する工事の支払いを速やかに行ってほしい。(2週間以内を目標にしてほしい)
- ・そもそも予め契約をしているのだから、検査合格後の決裁は省いてよいと思う。(最低限に留めるとか)
- ・毎日パソコンに向かっている職員の業務が全て本当に必要か分からない。(段取りが悪いのでは)
- ・最低価格の引上げ。

小売業

- ・消費面の安定、見積等の健全化で地方業者の安定。
- ・金融面への配慮。

卸売業

- ・地元の業者が生き残るには、地元独自の流通形態を作り上げていかねばならないという事です。
- ・地元の産品業者が、地元の消費者や観光客に直接販売できるような施設やシステムをなんとか考える支援がしてほしい。

サービス業

- ・観光の活性化対策。
- ・資金繰り安定への方策。
- ・公共料金(特に水道料金)の見直し。
- ・地域や中小企業の活性化、経営者育成が大切。
- ・市内の業者間の取引を拡大させるための商談会設置。
- ・市の観光や情報など、一部の業種に限定される支援の他の事業へも拡大。
- ・宮津に定住、移住して頂く為にも居住の補助制度の充実や、観光・福祉の産業等に力を入れて欲しい。